

平成19年11月30日

各 位	会 社 名	深 川 製 磁 株 式 会 社
	代 表 者	代 表 取 締 役 深 川 一 太 (コード番号5335)
	問 合 せ 先	取 締 役 管 理 本 部 長 原 忠 雄
	電 話 番 号	0 9 5 5 ( 4 3 ) 2 1 5 1 ( 代 表 )

福岡証券取引所からの上場廃止と日本証券業協会が運営するグリーンシート銘柄  
(フェニックス区分)としての取扱い指定届出に関するお知らせ

当社は、福岡証券取引所が定める株券上場廃止基準第2条第4号により、本年11月30日(金)までの期間に上場時価総額が5億円以上とならなかったため、上場廃止基準に該当することが決定しましたのでお知らせ致します。

また、日本証券業協会のグリーンシート銘柄(フェニックス区分)として取り扱われるよう指定届出を行うことといたしましたので、併せてお知らせ致します。

1. 上場廃止に至った経緯

当社は、平成18年4月から主力商品の見直しや新しい顧客への戦略商品の開発など顧客の開拓に力を入れ、一方継続雇用の見直しに伴う固定費の削減など収益の改善策に取り組んでまいりましたが、平成19年3月期の売上高は18億4千8百万円(前年同期比3%増)となり、損益面では経常損失7千6百万円となりました。こうした厳しい状況を踏まえ、当社といたしましては、顧客のニーズに合った商品の開発を中心に新しい分野のインテリア部門への参入など消費者の生活環境に即した営業戦略を打ち出してまいりました。

平成19年2月の月間平均上場時価総額及び月末上場時価総額が5億円未満となったことから、福岡証券取引所株券上場廃止基準第2条第4号(時価総額基準)に抵触することとなりました。当社といたしましてはこれを回避するため、平成19年5月に福岡証券取引所へ「事業の現状、今後の展開等について」を提出し、平成19年3月から平成19年11月まで9ヶ月間の継続審査期間に入りました。

国内の景気は緩やかな回復基調を推移していますが、原油の高騰に伴う原材料の値上がりなど、当社を取り巻く環境は依然として厳しく、11月22日に公表しましたとおり、通期の業績予想は、当初予想を下回る見込みとなりました。

以上のような状況下、株価が低位に推移した結果、当社株式は時価総額基準である5億円以上を回復することができず、はなはだ遺憾ながら本日付けで上場廃止基準に該当することが決定致しました。

(参考1) 当社上場時価総額の推移

	月間平均上場時価総額(円)	月末上場時価総額(円)
(平成19年2月)	(438,700,000)	(467,400,000)
3月	442,214,286	426,400,000
4月	430,500,000	410,000,000
5月	388,914,286	389,500,000
6月	397,895,239	442,800,000
7月	405,119,048	393,600,000
8月	382,191,305	328,000,000
9月	295,200,000	270,600,000
10月	341,977,273	364,900,000
11月	332,685,714	237,800,000

## (参考2) 最近3事業年度の業績推移

(単位：百万円)

	平成18年3月期 (実績)	平成19年3月期 (実績)	平成20年3月期 (予想)
売上高	1,843	1,848	1,857
経常利益	△58	△76	△30
当期純利益	△45	△207	△6

## 2. 今後の対応と日本証券業協会のグリーンシート銘柄（フェニックス区分）への取扱い指定届出について

当社は今後とも重要な経営施策を着実に実行し、企業の収益構造、体質改善及び業績の好転を図り、引き続き企業基盤の強化に向けて努力してまいります。

なお、当社の株式は12月1日（土）より12月30日（日）まで整理ポストにて割り当てられ、12月28日（金）まで株式の売買が行われます。

その後、平成19年12月31日（月）に上場廃止となる見込みですが、上場廃止後の当社株式の売買の場を提供することを目的として、平成20年1月4日（金）から売買が出来るよう、日本証券業協会のグリーンシート銘柄（フェニックス区分）として取扱われるよう指定届出を行う予定であります。

以 上